

# 認知症専門部会からの報告

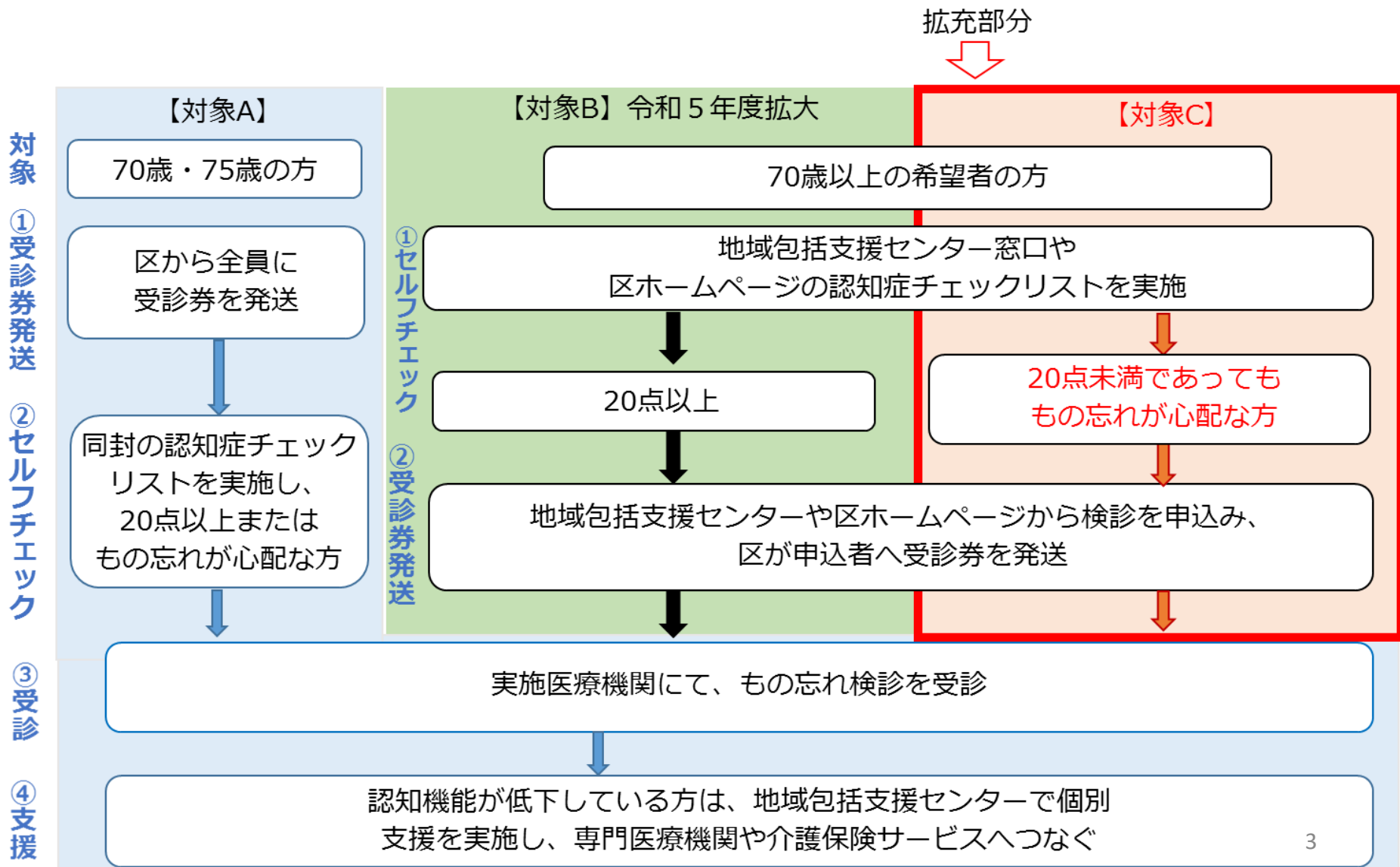
- 1 令和6年度もの忘れ検診の拡充案について
- 2 介護サービス事業者と連携した認知症相談窓口について
- 3 三療サービスを活用した家族介護者への支援の拡充案について
- 4 認知症ガイドブック（令和6年度）案について
- 5 令和5年度認知症普及啓発の取組について（報告）

# 1 令和6年度 もの忘れ検診の拡充案について

## 【令和6年度からの変更点】

- 1 認知症チェックリストの点数に関わらず受診できるようにする
- 2 区ホームページからの検診申込みを可能にする
- 3 順天堂大学医学部附属練馬病院を鑑別可能な専門医療機関に追加する

# (1) 認知症チェックリストの点数に関わらず 受診できるようにする



## (2) 区ホームページからの検診申し込みを 可能にする

年齢		申込方法等
A	70歳・75歳	全員に一斉発送
B	70歳以上でA以外の方	地域包括支援センターへ申し込む。  〈令和6年度〉 区ホームページからの申し込みも受け付ける。

(案) ホームページ内「もの忘れ検診」のページに、申込フォーム（リンク）を掲載する。

### (3) 順天堂大学医学部附属練馬病院を鑑別可能な 専門医療機関に追加する

<p>鑑別診断 可能な 専門医療 機関等</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 東京都認知症疾患医療センター (地域拠点型)</li><li>地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター (地域連携型)</li><li>医療法人社団じうんどう 慈雲堂病院</li><li>・ <b>順天堂大学医学部附属練馬病院 (追加)</b></li></ul>
--------------------------------------	---

※一般社団法人練馬区医師会  
医師会医療連携・在宅医療サポートセンター

## 2 介護サービス事業者と連携した 認知症相談窓口の設置案（モデル事業） 【認知症伴走型支援事業】

- ・小規模多機能型居宅介護事業所、認知症グループホームと連携し、認知症の相談窓口をモデル実施する
- ・一般住宅に近いアットホームな環境の中で相談を実施
- ・経験豊富な相談員が、認知症状の種類や認知機能の低下にあわせて、寄りそいながら継続的に支援する

### 3 三療サービスを活用した家族介護者への支援の 拡充案について

【概要】 令和6年4月より、家族介護者の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図ることを目的に、診療所または自宅で行っている三療サービスの対象を家族介護者にも拡充し実施する。

【対象者】 練馬区内に住所を有し、要介護3～5の方と同居し、在宅で介護している50歳～64歳の親族等の方

【利用回数】 年間最大4回 ※お送りする利用券の枚数は、申請月により異なる。

申請月	4月～12月	1月～3月
利用券の枚数	4枚	3枚

申請は年度ごとに必要となります。

【費用】 1回1,500円 利用券1枚で、施術を1回利用可能  
(出張施術の場合は、別途1,000円かかる)

【利用できる場所】 練馬区三療師会に加入している各施術所(者)  
(利用券と一緒に施術所一覧表をお送りする。)

【施術時間】 三療サービスの術目や、受ける方の体調・具合等により、  
施術時間は異なります。そのため、施術時間については  
施術所に要確認



# 4 認知症ガイドブック

## 令和6年度（2024年度）案について

### ★方針

認知症基本法や認知症新薬など最新の情報を盛り込み、支援サービスなどの情報を更新する。

### ★主な変更点

- 1 (新) 「認知症基本法が成立しました」を追加。(2 p)
- 2 (変更) 若年性認知症の事例の内容を変更。(5 p)
- 3 (新) 認知症治療薬に関するトピックス(6 p)
- 4 (変更) 「認知症かなと思う人に出会ったら」記述を変更。(9 p)
- 5 (変更) もの忘れ検診対象者拡大について記載した。(10 p)
- 6 (変更) 権利擁護センターの取組に終活相談窓口を追加。(11 p)
- 7 (新規) 介護者支援の取組みに「認知症伴走型支援事業」と「三療サービス」を追加。(13 p)
- 8 (新規) ICTを活用した見守り機器導入時の助成事業を追加。(18 p)



# 認知症ガイドブックの概要

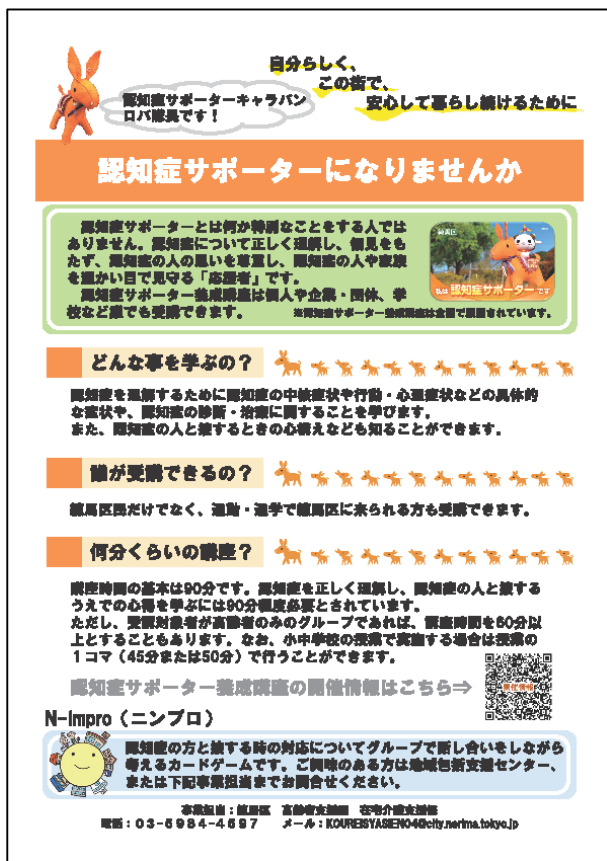
- **対象**：認知症の早期発見の対象となる前期高齢者、家族等
- **発行部数**：令和6年度(令和6年4月) 8千部  
※もの忘れ検診事業配付分を除く
- **主な配布先**：区役所、地域包括支援センター等  
(区ホームページに掲載)
- **今後のスケジュール**

年度	月	作業内容
5	1	第3回認知症専門部会 案の検討
	2	校正
	3	第1回在宅療養推進協議会 案の報告
6	4	発行、配付

# 5 令和5年度認知症理解普及啓発の取組

## (1) 認知症サポーター養成講座チラシの充実

目的 認知症サポーター養成促進やチームオレンジ活動等の普及啓発  
 配布先 地域包括支援センター、認知症サポーター養成講座、啓発イベント等  
 仕様 A4、カラー、3,000枚



自分らしく、この街で、安心して暮らし続けるために  
 認知症サポーターキャラバン口バ横隊です！

### 認知症サポーターになりませんか

認知症サポーターとは何か特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人の思いを尊重し、認知症の人や家族を温かい目で見守る「活躍者」です。  
 認知症サポーター養成講座は個人や企業・団体、学校などでも受講できます。

#### どんな事を学ぶの？

認知症を理解するために認知症の中核症状や行動・心理症状などの具体的な症状や、認知症の診断・治療に関することを学びます。また、認知症の人と接するときの心構えなども知ることができます。

#### 誰が受講できるの？

練馬区民だけでなく、通学・通学で練馬区に来られる方も受講できます。

#### 何分くらいの講座？

講座時間の基本は90分です。認知症を正しく理解し、認知症の人と接するうえでの心得を学ぶには90分程度必要とされています。ただし、要領対象者が高齢者のみのグループであれば、講座時間を60分以上とすることもあります。なお、小中学校の授業で実施する場合は授業の1コマ（45分または50分）で行うことができます。

認知症サポーター養成講座の開催情報はこちら⇒

**N-impro (ニンプロ)**  
 認知症の方と接する時の対応についてグループで話し合いをしながら学べるカードゲームです。ご興味のある方は地域包括支援センター、または下記事務局までお問い合わせください。

事務局：練馬区 高齢者支援課 在宅介護支援係  
 電話：03-6954-4897 メール：KOURISYASERW46@city.nerima.tokyo.jp



認知症サポーターのみなさまへ

### チームオレンジ活動をご存じですか？

チームオレンジ活動は、認知症になっても住み慣れた地域で希望をもって自分らしく暮らせるように、認知症の人やその家族と認知症サポーターがチームとなって行う地域の活動です。練馬区ではチームオレンジ活動を通して、認知症への理解を深め、安心して暮らせる地域づくりをすすめています。

認知症やもの忘れの心配のある人、認知症サポーターなど誰でも参加できます。メンバーは、自分達ができることを話し合ったり、音楽や手芸・工作など様々な活動をしています。

地域包括支援センターが活動を支援しています。  
 地域包括支援センターはこちら⇒

一緒に活動していただける認知症サポーターの方を募集しています！

活動内容は、一緒に散歩をしたり、例えばご本人が音楽家だった方であれば、その強みを活かして音楽を楽しんだりと様々です。認知症ご本人の持つ力と認知症サポーターの行動力や発想力を掛け合わせることで、素敵な「チームオレンジ」活動が誕生します。ぜひ、いっしょに活動しましょう！

チームオレンジ活動までの流れ

参加登録 → 名簿登録 → 活動内容とマッチング → チームオレンジ活動

参加登録用フォーム  
<https://logoform.jp/form/G2rU/101618>

【注意事項】  
 1 参加登録・削除およびチームオレンジ活動への参加は任意です。  
 2 登録された情報は、法令に基づき練馬区が設置に管理し、外部に漏れることがないようにします。  
 3 地域包括支援センターからの活動へのお願いは、原則として電話で連絡いたします。  
 4 活動中の事故等でケガをした場合に備えて区が行うボランティア保険をご案内します。保険料は区が負担いたします。  
 5 登録の削除は、登録フォームから可能です。表面の事業担当者でも電話・メールで受け付けます。

# 5 令和5年度認知症理解普及啓発の取組

## (2) 「オレンジ・ランプ」映画上映会 & とうきょう認知症希望大使のお話

目的 : 認知症の理解普及促進のため

概要 : 若年性認知症に関する映画上映

日時 : 令和5年12月2日(土)

場所 : 練馬区役所地下多目的会議室

来場者数(定員) : 午前の部 : 93名(180名)

午後の部 : 139名(180名)

※申込多数のため、急遽午前の部も開催した。

結果 : 回収率 : 午前100%、

午後90.6%

満足度 : 午前95%

午後98%

※全員が「認知症への理解が深まった」

と回答





# 5 令和5年度認知症理解普及啓発の取組

## (3) 令和5年度チームオレンジ展

期間：令和6年1月24日から2月6日まで

場所：練馬区役所1階アトリウム

内容：とうきょう認知症希望大使長田米作さんのメッセージ動画  
チームオレンジ活動の様子や本人の声を伝えるポスター等の展示  
認知症の理解普及促進のための各事業紹介など



チームオレンジ活動を見てみよう



チームオレンジ展

